

# 長期戦略:テーマ 「質の高い就労」の実現」

提出日 2022年 10月 20日

担当部署

## Ⅱ.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	森キャリアセンター長 (キャリアセンター)	実施計画の 担当部署	研究推進社会連携機構
-----------------------	--------------------------	---------------	------------

### 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(2)-③ アントレプレナー養成のための各種施策の実施	2019年度	2024年度	必要なし	不要
<b>内容</b> 学生が「自らが志す進路」として「起業」や「企業に就職して新規事業に挑戦する」ことを選択する場合に必要な基礎的な知識やスキルを身に付けるため、段階や関心に応じて参加できるプログラムを実施する。「アントレプレナーシップの醸成」からスタートして、実践的なプログラムである「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」(ケーススタディ形式で経営スキルを学び、受講生全員が「実際に」事業を立ち上げながら、実践を通じて事業開発・起業を体験するプログラム)を中心に据えて展開する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合コース科目等の開講</li> <li>・「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY(KGSA)」の実施(2022年度より NUC、KSC にて実施)</li> <li>・起業支援プログラム『戦略的学生起業論』(講座、ゼミ、個別メンタリングなど)の実施</li> </ul> なお、これらのプログラムに参加して起業した在学生及び卒業生の事業運営を IPO に至るまで継続的に支援する仕組みを構築し、「アントレプレナー研究会」(本学フェローの岡本泰彦ライク㈱代表取締役社長兼 CEO を中心にした本学 OB の IPO 社長等の研究会)メンバーの皆様へ支援していただく予定。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」修了者数	研究推進社会連携機構が提供する起業家育成プログラム「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」の各年度の修了者数		
指標2	年度ごとの起業家数	研究推進社会連携機構がネットワークを構築している「KG IPO Entrepreneurs Club」に登録している学生(研究推進社会連携機構が実施するアントレプレナー育成プログラムの情報提供を希望している本学学生)のなかから、各年度に起業した人数		
指標3				

## 目標1&lt;指標1&gt;「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」修了者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	10名	15名	20名	25名	25名	25名
実績	14名	11名	9名			

## 目標2&lt;指標2&gt;年度ごとの起業家数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	3名	5名	7名	10名	10名	10名
実績	2名	1名	2名			

## 目標3&lt;指標3&gt;

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

## 2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合コース科目等の開講 「スタートアップデイズ」 等の実施	策定段階	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施
	2023年3月 末段階	国際学部科目として開講 スタートアップデイズの実施	—	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	科目の開講 スタートアップデイズ等の 実施	
	2023年3月 末段階	—				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY (KGSA)」の実施	策定段階	KGSAの実施 (10名修了)	KGSAの実施 (15名修了)	KGSAの実施 (20名修了)	KGSAの実施 (20名修了)	KGSAの実施 (20名修了)
	2023年3月 末段階	—	—	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	KGSAの実施 (20名修了)	KGSAの実施 (20名修了)	KGSAの実施 (20名修了)	KGSAの実施 (20名修了)	
	2023年3月 末段階	—				

## 3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							

## 4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」では受講者 38 名・修了者 14 名であったことに加え、短期（1～2 日）の 8 つのプログラムを実施し、のべ約 150 名の学生が参加した。また、正課授業「ベンチャービジネス創成」（国際学部開講）では 9 学部・181 名の受講があり、起業を人生の選択肢の一つとして考える学生（そのことを周知できた学生）の人数は増加してきていると思われる。
2020 年度	「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」では受講者 36 名・修了者 11 名であったことに加え、短期（1～2 日）の 4 つのプログラムを実施し、のべ 220 名の学生が参加した。また、正課授業「ベンチャービジネス創成」（国際学部開講）では 9 学部・191 名の受講があった。さらに、2020 年度から導入したメンタリングは 112 回実施しており、起業に向けて準備を進める学生が増加してきていると思われる。
2021 年度	「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」では受講者 35 名・修了者 9 名であった（「目標 1<指標 1>『Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY』修了者数」の 2021 年度目標値（20 名）は、2021 年度から NUC に加えて KSC でも開講することを想定した数値だったが、KSC では 2022 年度からの開講に変更された）ことに加え、短期（1～2 日）の 4 つのプログラムを実施し、のべ 133 名の学生が参加した。また、正課授業「ベンチャービジネス創成」（国際学部開講）では 170 名、「ベンチャー企業家講座」（理学部開講）では 201 名の受講があった。さらに、2020 年度から導入したメンタリングは 166 回実施しており、起業に向けて準備を進める学生が増加してきていると思われる。一方、プログラム修了生の起業に向

	けたサポートとして、オンラインによる個別起業相談（メンタリング）、ANCHOR KOBE（イノベーションを創発するコミュニティスペース）の優先利用、みなと銀行（連携協定先）に設置された本学学生対象の起業支援窓口の紹介を行なっている。また同窓会組織「関西学院ベンチャー新月会」を設立し（在学中でも学生会員登録可能）、卒業生起業家とのネットワーク形成を推進している。
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	<p>2017 年度から開講している起業塾「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」の修了生（これまでに 21 名）を中心に、実際に起業（法人設立 2 社）もしくは本格的に起業の準備を始める学生が増えてきている状況に鑑み、次の支援体制として、以下 2 点の整備が喫緊の課題である（費用計画は「3.」に記載）。</p> <p>①実際に起業もしくは本格的に起業の準備を始めた学生が集まり、自由にディスカッションできる場所の確保 →西宮北口や三宮などの交通の便が良い場所も考えられるが、まずは学内（NUC・KSC 各 1 ヶ所）に拠点が必要</p> <p>②事業計画等に関するメンタリングのためのメンターの配置 →外部アドバイザーを週 1 回程度配置（外部委託）</p>
2020 年度	<p>上記①については継続課題。</p> <p>上記②については 2020 年 4 月から実施し、5 月末現在、用意した枠を大幅に超える学生からの希望があることから（21 枠に対して 48 名受講希望、事業計画の内容・段階をみて選定）、2021 年度からは枠の増加を検討する。そのため、委託費を増額申請する（「3. 費用計画」に記載）。また、2021 年度から「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」を KSC でも開講するため、当該経費を申請する（「3. 費用計画」に記載）。</p>
2021 年度	<p>上記①については継続課題。</p> <p>上記②について、2020 年は 112 回実施した。年間を通じて一週間単位で募集している枠数を大きく超える応募が続いており、2021 年度からは枠数(予算)を増やして対応する。KSC での「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」開講は 2022 年の早い時期のスタートに向けて準備を進めている。</p>
2022 年度	<p>上記①については継続課題。上記②について、2021 年度に枠数(予算)を増やして対応した結果、166 回のメンタリングを実施した。今後、枠数の過不足の状況把握に努める。その他、株式会社みなと銀行と連携協定を締結して起業相談窓口を設置するなど、実際に起業する段階での支援体制についても整備を進めている。</p>
2023 年度	
2024 年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY の継続実施を認めます。なお、受講料は事業収入とします。また、受講料については、受益者負担が原則であり、成果検証の結果、2020 年度以降の見直しをお願いする場合があります。
2019 年度	Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY の継続実施および外部委託によるメンター配置を認めます。昨年通り、受講料は事業収入とします。但し、受講料については、受益者負担が原則であり、成果検証の結果、2021 年度以降の見直しをお願いする場合があります。
2020 年度	KSC を含む Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY の実施および外部委託によるメンター配置について認めます。 昨年通り、受講料は事業収入とします。 ただし、受講料については、受益者負担が原則であり、成果検証の結果、2022 年度以降の見直しをお願いする場合があります。
2021 年度	KSC を含む Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY の実施および外部委託によるメンター配置について認めます。 昨年通り、受講料は事業収入とします。また、受益者負担が原則であり、受講料を見直す場合があります。
2022 年度	Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY の実施および外部委託によるメンター配置を認めます。 ただし、受講料については、受益者負担が原則であり、成果検証の結果、見直しをお願いする場合があります。
2023 年度	

## 7. Total Review の結果

## 【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2039 年『アントレプレナー100 人輩出構想』へ向けて、実績が上がっている「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」を継続して実施する。</li> <li>・起業に向けたアドバイスを行う『メンタリング制度』を 2020 年度から導入し、受講者から好評を得ている。継続し充実させることで、起業支援をさらに実施する。</li> <li>・リエゾンオフィスのように、起業したい学生らが集まることができるスペース・施設をキャンパスごとに準備する必要がある。上ヶ原ではラーニングcommonsなどの活用、KSC では再編活性化に伴う環境整備計画とフェーズをあわせる。</li> </ul>	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業したい学生らが集まることができるスペース・施設の検討</li> </ul>

## 【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	

